

肥前磁器の展開

2016年6月3日(金)ー 6月26日(日)

江戸時代から始まる日本の磁器生産は、肥前有田地方の食器類を中心に展開しました。岩田久子氏寄贈品の有田焼、田原コレクションの鍋島焼などの展示から、涼やかな染付と華麗な色絵、端正な白磁や青磁の展開をお楽しみ下さい。



青磁染付 青海波宝文皿 鍋島焼
江戸時代・18世紀
本館蔵(田原コレクション)

異郷の空

2016年6月3日(金)ー 6月26日(日)

19世紀末以降、本格的な西洋絵画を学ぶために多くの日本人画家たちがヨーロッパやアメリカに渡航しました。遙かな「異郷」で胸躍る日々を過ごした画家らの姿を思いながら、大正から昭和前半期を中心とする洋画作品をご鑑賞ください。



森田恒友 プルターニユの風景 大正4年(1915)
本館蔵 鈴置恒子氏寄贈

源平物語絵

2016年6月3日(金)ー 6月26日(日)

『平家物語』や『源平盛衰記』など、源氏と平氏の戦いをテーマとした物語は広く語り継がれ、様々なイメージを生み出しました。それらは格好の画題として、多くの絵画にも描かれています。勇ましくも悲しい源平の物語絵をお楽しみください。



鈴木松年 鞍馬僧正谷(部分) 明治24年(1891) 個人蔵

中国四大美人!?!《明妃出塞図》を読み解く

2016年6月3日(金)ー 6月26日(日)

中国四大美人にも擬せられる王昭君。その悲劇を描いた《明妃出塞図》(表紙参照)の出陳にあわせて漢代の女子俑や銅鏡、騎馬民族の習俗からうまれた帯鉤などを展示することで作品理解の一助といたします。一点の絵画から広がる中国美術の世界をどうぞご堪能ください。



灰陶加彩 女子俑 後漢時代・2世紀
本館蔵(山口コレクション)

仏教美術—聖徳太子をめぐる美術

2016年6月3日(金)ー 6月26日(日)

聖徳太子(574-622)は、仏教を篤く信奉し今日まで続く仏教興隆の礎を築きました。太子が没すると日本仏教の祖として崇敬をあつめその生涯が伝説化し、大阪・四天王寺をはじめとする太子建立寺院を中心に聖徳太子信仰が形成されました。第一部では太子が使節を派遣した中国・隋の作品、第二部では絵伝など太子信仰に関わる作品をご紹介します。



聖徳太子絵伝(巻下) 江戸時代・17世紀 大阪・叡福寺

大阪市立美術館 天王寺公園内

Osaka City Museum of Fine Arts

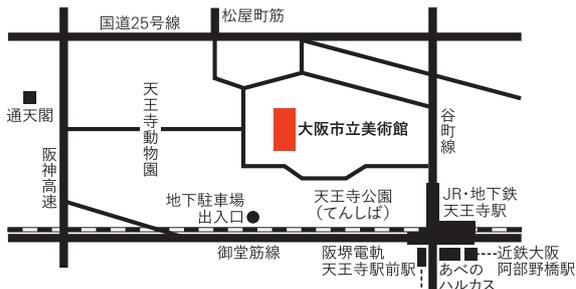
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

tel. 06-6771-4874 fax. 06-6771-4856

http://www.osaka-art-museum.jp

開館時間=9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日=月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌平日)



交通案内: 地下鉄御堂筋線・谷町線、JR「天王寺」、近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」、阪堺電軌上町線「天王寺駅前」下車、または市バス「あべの橋」下車、北西へ約400m